

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 山陽特殊製鋼株

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

【理念】

我々は環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、北に世界文化遺産国宝「姫路城」、南に瀬戸内海国立公園を臨む豊かな環境に立地する企業として、事業活動の全ての段階において環境の保全に配慮し循環型社会の構築に貢献する。

【方針】

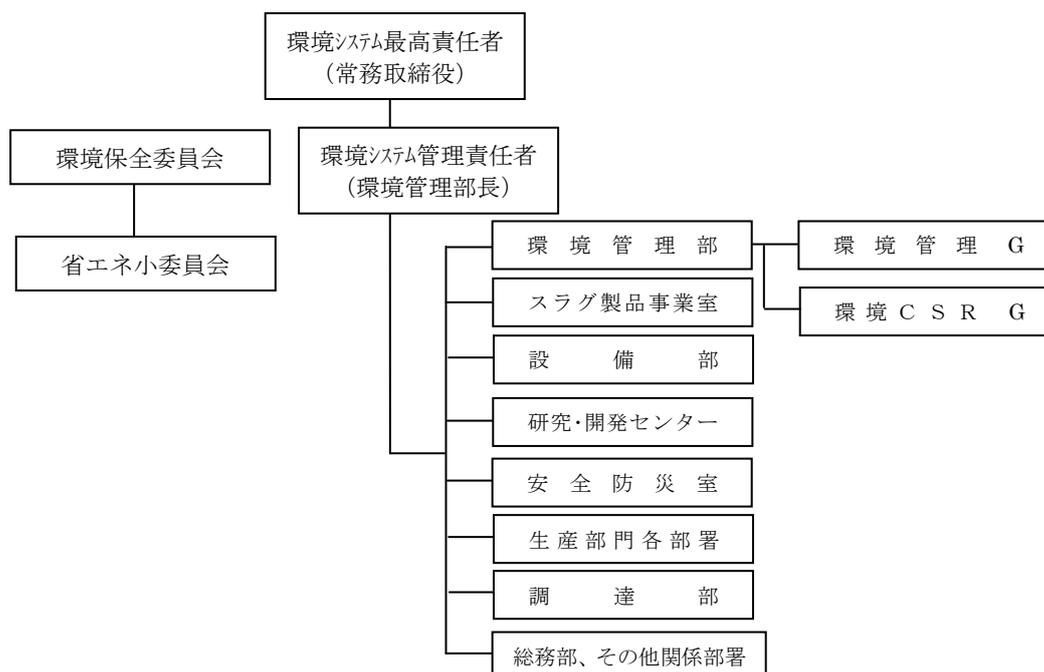
当社は、特殊鋼及び非鉄金属を製造・販売する工場であることを踏まえ、以下の方針に基づき環境マネジメントを実施する。

1. 鉄スクラップを原料とする鉄鋼製品の製造を通じて、金属資源のリサイクルに貢献する。
2. 環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善に努め、環境に影響を与える恐れのある事業活動を責任をもって管理する。
3. 事業活動のすべての段階で環境への負荷を低減し、環境保全に貢献するため、省資源・省エネルギー、副産物の再資源化・廃棄物の削減及び汚染物質の排出抑制を推進し、環境汚染の予防に努める。
4. この環境方針達成のために、環境目的及び環境目標を設定するとともに、少なくとも1年1回これを見直し、必要に応じて改訂を行う。
5. この環境方針を全従業員に教育訓練により周知徹底させ、環境システムを確実に運営管理するために、環境管理部長を環境システム管理責任者に任命する。

(目標・計画等の公表の方法)

毎年発行しているCSR報告書にて公表し、当社ホームページにも掲載しています。

1-2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果		今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	●CO ₂ 排出量 (‘08年～’12年平均) ‘90年度比23%減	◆都市ガス(天然ガス)への燃料 転換 ◆大型電動機のインバーター化 ◆生産性向上によるエネルギー節 減	●既設燃焼施設を高効 率の燃焼装置に更新 ●大型電動機のインバ ーター化
副産物の再資 源化	●生産活動における 副産物の低減と資 源の有効利用	◆ダスト、汚泥の埋立処分量削減 やレンガくずのリサイクル率向 上の推進	●継続推進
工場緑化の推 進	●工場内緑化の推進 ●植樹による景観の 整備	◆条例制定により緑地面積率が緩 和され、緑地の有効活用を検討	●継続推進
環境マネジメ ントシステム	●環境マネジメント システムの維持と 継続的改善	◆外部審査機関による更新審査 ・H26年3月4日～5日完了	●システムの維持・改善 ・H27年2月 更新審査
自動車対策	●自動車排ガスの削 減	◆電気自動車の有効利用 ◆製品物流のモーダルシフト ◆アイドリングストップの励行	●継続推進
環境教育・訓 練	●環境保全に関する 従業員教育を実施 ●環境パトロールの実施 ●環境連絡会議	◆環境保全に関する新入社員及び 班長代行への教育実施 ◆各職場における環境汚染防止訓 練の実施 ◆役員・部署長による環境施設の パトロールを実施(1回/月) ◆環境意識の工場、コンプライアンスの徹 底に向けた意見交換による環境 情報共有	●継続推進
環境コミュニケー ション	●環境情報の公開	◆CSR報告書の発行(9月)	●年1回発行の継続